



# 公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

## 第1回 定例会 代表質問

### だれもが住みたいと思う モデル都市かわさきに

新たな産業を本市から世界へ——菅原進議員は2月27日に開催された第1回定例会で、公明党を代表し川崎をだれもが住みたいモデル都市とするよう22項目について質問しました。その主な項目を紹介します。



代表質問に立つ すがわら議員

## 歳出削減図れ！

公明党は、これまで極力市債の発行を抑え、歳出の削減を視野に入れた予算編成を求めてきました。

昨年の議会答弁では「歳出削減に努力する」としていたにもかかわらず、平成25年度の予算編成は、市債699億円、減債基金からの借入れが60億円、対前年度比で0.5%増の予算となったことを市長にただしました。

市長は「元気都市かわさき」の継続と「新たな飛躍」を確実にするための予算と答弁。

すがわら議員は、特に減債基金の借入れは原則的に避けるべきと主張。思い切った歳出削減を行い、歳入歳出のバランスをとり、次世代の負債を軽減することを求めました。

## 最先端事業で経済の活性化を！

公明党が推進をはかり、国から認定を受けた国際戦略総合特区（川崎区殿町）に、高度医療機器を扱う世



界有数の企業が進出することが決まりました。

国の緊急経済対策の一環として公明党が推進した「ものづくりナノ医療イノベーション」事業は、全国で大変な競争のなか、川崎市が指定され、本市では35億円が予算化されました。これにより再生医療などの最先端の産官学・医工連携拠点が実現。すがわら議員は市内企業・研究所などの地域資源との連携の重要性を訴え、その推進を主張しました。

総合企画局長は、「ジョンソン・エンド・ジョンソン社が進出を決定し、優れたものづくり技術を有する市内企業との連携を図り、市内経済の発展の期待と市内企業などを含めた地域資源との連携を促進していく」と答弁しました。

## 大型補正で防災対策を図れ！

本年2月の「川崎市地震被害想定調査」を受けて「地震防災戦略」「備蓄計画」「臨海部防災計画」「津波避難計画」などの改訂素案が示されました。すがわら議員は、「対策と取組み、および国の補正予算の防災関連事業等への対応」などについて質問しました。

総務局長は、「東日本大震災の教訓

を踏まえ、発生頻度が高い津波と発生頻度は極めて低い、影響が甚大な最大クラスの津波の2つのタイプに分けた対策を策定。

また、橋梁の耐震対策や幹線道路の空洞調査などにも対処しながら、さらなる安全対策に取り組んでいく」と答弁しました。



# いちばん近くで、動く、働く、

## 通学路の安全対策強化せよ!

昨年4月に京都府亀岡市で保護者を含む10人の死傷者を出した集団登校時の事故から1年。

公明党は、国の防災・安全交付金が通学路の安全対策にも利用可能なことを指摘し、本市での通学路安全対策への取り組みをただしました。

建設緑政局長は「安全対策が必要な279箇所中131箇所については、道路管理者として早急に対策を実施する必要がある」と答弁。「平成24年度内に42箇所に実施し、今後も速やかに場所を公表したうえで、交付金などを活用して取り組む」と言明しました。



©NEW KOMETTO

## 保育施策が大きく前進!

公明党がこれまで何度も取り上げてきた認可外保育事業の再構築と保育料の保護者負担の軽減、さらに保育について相談ができる保育コンシェルジュの配置などの取り組みをただしました。

市は、4月から地域保育園の中から新たに25園を川崎認定保育園に、また平成25年10月から川崎市認定保育園へ通う児童1人当たり月5千円を支給し、多様な保育のニーズに柔軟に対応できる保育士の専門相談員を今年度から区役所及び支所に「子育てサポーター」として配置することを明らかにしました。

## 円滑化法終了に対応!

3月末で中小企業金融円滑化法が終了することから、公明党は、中小企業や個人事業主への相談機能や資金繰り対策など市の支援策について対応をただしました。

市は、「全国に先駆けて『経営力強化支援基金』を創設した。また、円滑化法終了後の不安への対応として『金融円滑化特別相談窓口』を金融課と中小企業溝の口事務所に設置する。さらに、資金繰りに支障の生じないよう、金融機関及び支援機関に対し市長名の文書で要請した」ことを明らかにしました。

●問合せ先 金融課 (544) 1846

中小企業溝の口事務所 (812) 1112

## 期日前投票 宣誓書の事前記入が実現!

公明党は、期日前投票の宣誓書記入を事前に自宅等のできるよう改善を求めました。

市は、「選挙人に利便性を図り、期日前投票開始日から選挙管理委員会のホームページで宣誓書の印刷を可能にする」とともに、投票所入場券に宣誓書を印刷した封書方式として事前に宣誓書記入が出来るよう、この夏の参議院選挙から実施する」と答弁しました。



©NEW KOMETTO



## 復興再生に全力!!

福島復興再生総局を訪問した川崎市議団

## お知らせ

### 川崎市初! ドクターカー本格運用開始

消防局と日本医科大学武蔵小杉病院が連携し、医師同乗のドクターカーの試験運行開始から半年が経過。医師の早期処置により心肺停止から蘇生した事例など、7割以上で容体が改善しており、救命効果は非常に高いことが判明。市は、公明党の主張により、3月1日より本格運行を開始しました。

### 小学校の 分散備蓄を推進!

発災時の避難所となる小学校への分散備蓄を求めてきましたが、平成24年度補正予算で27カ所を整備することが明らかになりました。対象の125カ所が平成27年度までに、全て完了することになり、公明党の主張が大きく反映されました。

### 市営住宅駐車場 空きスペースに 民間パーキング設置!

公明党は、市有財産の有効活用を求めてきましたが、4月から市内5箇所の市営住宅空き駐車場に民間による時間貸しパーキングを設置。カーシェアリングや電気自動車用充電施設も整備されます。